

## 研究課題名

多剤耐性の原因となるプラスミドの分子疫学解析

## 研究の概要

病原菌の薬剤耐性化は臨床上大きな問題であり、特に、腸内細菌科細菌をはじめとするグラム陰性桿菌では多剤耐性化が顕著である。病原菌の薬剤耐性機序は様々であるが、特に、プラスミドを介した薬剤耐性機序は、菌種を超えて広く伝播する可能性がある。そこで、本研究では、臨床上問題になり得る薬剤耐性プラスミドの実態把握および分子疫学的解析を目的とする。

積極的疫学調査等によって搬入される、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌をはじめとする薬剤耐性菌と、それらに該当するヒトの情報（検査依頼書及びNESID：感染症サーベイランスシステムに登録されている情報）を合わせて解析する。

## 研究期間

令和3年度から令和5年度まで

## 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター  
所長 吉村 和久

## 研究責任者の氏名

微生物部病原細菌研究科  
有吉 司

## オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。